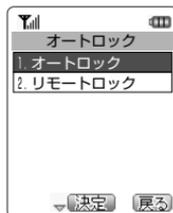


## いろいろな機能を設定する <つづき>

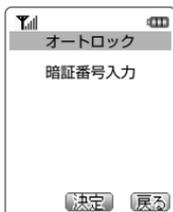
### オートロック [メニュー95]

待ち受け画面で一定時間ボタン操作がない場合に自動的にダイヤルロック状態にすることができます。(P.6-36ページ) OFF、5分、10分、30分から選択できます。オートロックの設定には、暗証番号の入力が必要になります。お買い上げ時の暗証番号は「0000」に設定されています。暗証番号は変更することができます。「暗証番号を設定する [メニュー96]」(P.1-42ページ) また、オートロックを使用するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。

**1** 待ち受け画面で  (Menuボタン)   と押す



**2**  を押して「1.オートロック」を選択し、 を押す



**3** ダイヤルボタンで暗証番号を入力し、 を押す  
入力した番号は「\*」と表示されます。



**4**  を押して時間を選択し、 を押す  
設定が完了し、メッセージが表示されたあと、待ち受け画面に戻ります。

#### お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- リモートロックについては、7-60ページを参照してください。

# リモートロック機能を利用する

## リモートロック機能の概要

本電話機をどこかに置き忘れてたり紛失したりした場合、個人情報の漏洩や電話機の悪用などを防ぐために、「リモートロック」機能を利用できます。

他の電話機から本電話機にコマンド（命令）を送ることで、電話機をロックして使用できなくなったり、登録されているデータを消去したりできます。

### ■リモートロック機能でできる処理

#### ①リモートロック

電話機をロックして、ほとんどの操作ができないようにします。

着信を受けて通話することや、電源のON・OFFは可能ですが、発信、メール作成・送信はできなくなります。電話帳やリダイヤル／着信履歴などを見ることもできません。また、エニーキーアンサー（☞6-29ページ）の設定も無効になります。

#### ②リモートロック+消去

①に加え、電話機に登録されているデータ・設定情報を、一括して消去・初期化します。消去・初期化される項目は、「完全消去+初期化」で消去・初期化される項目（☞6-35ページ）とほぼ同じです。ただし、以下の2項目は初期化されません。

・暗証番号（☞1-42ページ） ・リモートロック設定（☞7-62ページ）

#### ③リモートロック解除

リモートロックを解除し、通常の操作ができる状態に戻します。

### ■リモートロックの実行

上記①～③の各処理は、以下のいずれかの方法でコマンドを送ることにより実行します。

- ・ライトメール送信（ライトメール対応のPHS電話機から）
- ・サブアドレス付き発信（サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から）

- コマンドを送ると、本電話機はコマンド実行待ちの状態になります。その後、本電話機に対しキー入力・USBケーブル抜き差しなどの操作がされた時点で、コマンドが実行され、上記①②の場合は待ち受け画面の下部に「☆☆☆☆☆☆」と表示されます。



**お知らせ**

- リモートロックを実行すると、以下の機能は無効になります。
  - ・ 着信者表示機能、指定着信音機能、ピクチャー表示機能 (☞2-56ページ)
  - ・ 留守録 (☞2-86ページ)、安全運転モード (☞2-102ページ)
- リモートロックを実行すると、目覚まし音、スケジュールのアラーム音は鳴らなくなります。
- リモートロックを実行すると、設定されていた壁紙は非表示になります。ロックを解除すると再表示されます。
- 「リモートロック」、「リモートロック+消去」のコマンドを送信した場合も、キー入力などの操作がされないうちに「リモートロック解除」のコマンドを送信すれば、前のコマンドは無効となり、ロックやデータ消去は実行されません。
- 悪意のあるいたずらや操作の誤りなどにより、リモートロック機能でデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。第三者にリモートロック機能を使用されたくない場合は、設定をOFFにしてください。

## リモートロック機能を利用する〈つづき〉

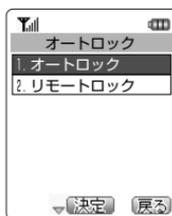
### リモートロック機能の設定をする

リモートロック機能を利用する準備として、パスワードを設定します。また、ライトメールによる操作、サブアドレス付き発信による操作について、それぞれ設定を行います。

#### リモートロック設定画面を表示する

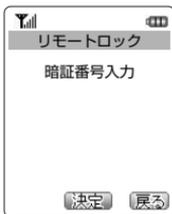
リモートロック機能に関する設定は、リモートロック設定画面から行います。リモートロック設定画面は以下の手順で表示します。

#### 1 待ち受け画面で (Menuボタン) と押す



#### 2 を押して「2.リモートロック」を選択し、 を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。



#### 3 **ダイヤルボタンで暗証番号を入力する**

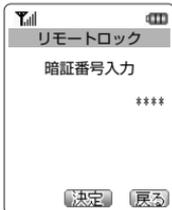
ここで入力するのは、メニュー96で設定した暗証番号（☎1-42ページ）です。

入力した番号は「\*」と表示されます。

##### ▶ 暗証番号を修正するには

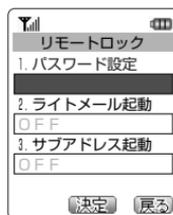
最後の1桁を消す：  を押す

すべての桁を消す：  を約1秒以上押す



#### 4 ○ (決定) を押す

リモートロック設定画面が表示されます。



その他

リモートロック機能を利用する

#### お知らせ

- 暗証番号が一致しないと、エラー音が鳴り、「暗証番号が違います」というメッセージが表示された後、待ち受け画面に戻ります。

# リモートロック機能を利用する <つづき>

## パスワードを設定する

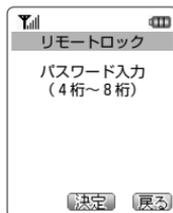
最初に、リモートロック機能用のパスワードを設定します。

パスワードは、4～8桁の数字で設定します。

実際にリモートロック機能を使う際には、ここで設定したパスワードを入力して命令（コマンド）を送ることになります。

- 1** リモートロック設定画面で、を押して「1.パスワード設定」を選択し、を押す

パスワードの入力画面が表示されます。

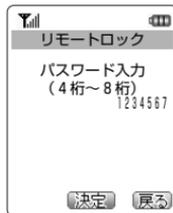


- 2** ダイヤルボタンでパスワードを入力する

▶ パスワードを修正するには

最後の1桁を消す：を押す

すべての桁を消す：を約1秒以上押す



- 3** を押す

「設定しました」というメッセージが表示され、リモートロック設定画面に戻ります。

## お知らせ

- 設定したパスワードを忘れないようご注意ください。忘れると、本電話機を紛失などした場合にリモートロック機能が使用できません。

## ライトメールでのリモートロックの設定をする

ライトメールでリモートロックなどの操作ができるように設定します。特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定することもできます。許可電話番号は2件まで登録できます。

● 許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでもライトメールで操作が実行できます。

- 1 リモートロック設定画面で、を押して「2.ライトメール起動」を選択し、（決定）を押す

ライトメール起動設定画面が表示されます。

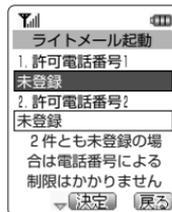


### ▶ パスワードが未設定のとき

リモートロック機能用のパスワードが未設定の場合、「2.ライトメール起動」は選択できません。先にパスワードを設定してください。「パスワードを設定する」(P.7-64ページ)

- 2 を押して「1.ON」を選択し、（決定）を押す

許可電話番号の設定画面が表示されます。



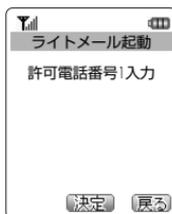
### ▶ 「2.OFF」を選択したとき

「設定しました」というメッセージが表示され、リモートロック設定画面に戻ります。（この場合、ライトメールでの操作は実行できません。）

- 3 許可電話番号を設定する場合は手順4に、設定しない場合は手順8に進む

- 4 を押して「1.許可電話番号1」を選択し、（決定）を押す

電話番号の入力画面が表示されます。



その他

リモートロック機能を利用する

## リモートロック機能を利用する (つづき)

### 5 ダイアルボタンで電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

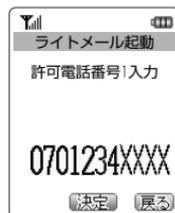
#### ▶ 電話番号を修正するには

最後の1桁を消す：  を押す

すべての桁を消す：  を約1秒以上押す

#### ▶ 設定済みの許可電話番号を未登録に戻すには

設定されている電話番号を消し、未入力の状態にしてから、手順6に進む



### 6 ○ ( ) を押す

「設定しました」というメッセージが表示され、許可電話番号の設定画面に戻ります。

### 7 必要であれば、手順4～6の要領で「2.許可電話番号2」を同様に設定する

### 8 設定が完了したら を押す

待ち受け画面に戻ります。

その他

リモートロック機能を利用する

## サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする

サブアドレス付き発信によってリモートロックなどの操作ができるように設定します。特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定することもできます。許可電話番号は2件まで登録できます。

● 許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでも操作が実行できます。

- 1 リモートロック設定画面で、 を押して「3.サブアドレス起動」を選択し、 を押す

サブアドレス起動設定画面が表示されます。

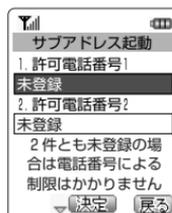


### ▶ パスワードが未設定のとき

リモートロック機能用のパスワードが未設定の場合、「3.サブアドレス起動」は選択できません。先にパスワードを設定してください。「パスワードを設定する」(p.7-64ページ)

- 2 を押して「1.ON」を選択し、 を押す

許可電話番号の設定画面が表示されます。



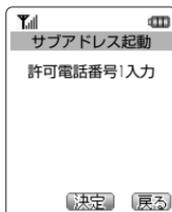
### ▶ 「2.OFF」を選択したとき

「設定しました」というメッセージが表示され、リモートロック設定画面に戻ります。(この場合、サブアドレス付き発信での操作は実行できません。)

- 3 許可電話番号を設定する場合は手順4に、設定しない場合は手順8に進む

- 4 を押して「1.許可電話番号1」を選択し、 を押す

電話番号の入力画面が表示されます。



## リモートロック機能を利用する (つづき)

### 5 ダイアルボタンで電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

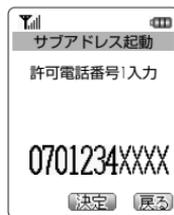
#### ▶ 電話番号を修正するには

最後の1桁を消す：(クリア)を押す

すべての桁を消す：(クリア)を約1秒以上押す

#### ▶ 設定済みの許可電話番号を未登録に戻すには

設定されている電話番号を消し、未入力の状態にしてから、手順6に進む



### 6 ○ (決定) を押す

「設定しました」というメッセージが表示され、許可電話番号の設定画面に戻ります。

### 7 必要であれば、手順4~6の要領で「2.許可電話番号2」を同様に設定する

### 8 設定が完了したら (PWR) を押す

待ち受け画面に戻ります。

その他

リモートロック機能を利用する

## リモートロックを実行する

本電話機を紛失などした場合に、他の電話機からのライトメールまたはサブアドレス付き発信により、リモートロックやデータ消去を実行します。

### ライトメールで実行する

他の電話機からライトメールでコマンド（命令）を送ることにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。

ライトメールの宛先に本電話機の電話番号を、本文にコマンド文字列を入力して送信します。

- 本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機からライトメールを送る必要がありません。  
「ライトメールでのリモートロックの設定をする」(☞7-65ページ)
- 上記の場合、許可電話番号からライトメールを送っても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

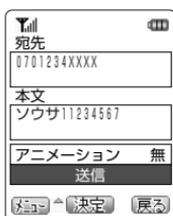
### ■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	ソウサ1xxxxxxxxx
②リモートロック+消去	ソウサ3xxxxxxxxx
③リモートロック解除	ソウサ0xxxxxxxxx

- ※ コマンド文字列は、全角・半角のどちらでも有効です。
- ※ xxxxxxxxlは、リモートロック機能用のパスワードを示します。  
「パスワードを設定する」(☞7-64ページ)

### ■入力例

たとえば、電話番号「070-1234-XXXX」、設定パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、ライトメールの画面で下記のように入力し、送信します。



- ※ これは画面例です。  
実際の画面は、送信に使用する電話機により異なります。

ライトメール送信の操作の詳細については、「ライトメールを作成送信する」(☞4-22ページ)を参照してください。

**お知らせ**

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- コマンド文字列に他の文字（空白、改行を含む）を入力したり、アニメーションをつけて送信したりすると、正しいコマンドとして認識されません。
- コマンド送信用のライトメールおよびその着信履歴は、受信側の電話機（本電話機）には残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信ランプ、リマインダーも点灯しません。
- ライトメールが正常に送信されると、送信側の電話機にはライトメール送信完了画面が表示されますが、これは必ずしも受信側の電話機（本電話機）がコマンドを正しく受信したことを示すものではありません。

## リモートロック機能を利用する〈つづき〉

### サブアドレス付き発信で実行する

サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から発信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。本電話機の電話番号のあとに、サブアドレスとしてコマンド文字列を入力し、発信します。

- 本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機から発信する必要があります。「サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする」(☞7-67ページ)
- 上記の場合、許可電話番号から発信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

### ■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	01xxxxxxxx
②リモートロック+消去	03xxxxxxxx
③リモートロック解除	00xxxxxxxx

※ xxxxxxxxは、リモートロック機能用のパスワードを示します。  
「パスワードを設定する」(☞7-64ページ)

### ■入力例

たとえば、電話番号「070-1234-XXXX」、設定パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、下記のように入力し、発信します。

0701234XXXX\*011234567

※ 電話番号とサブアドレスの間の区切り記号（上記の例の「\*」）は、電話機によって異なります。発信に使用する電話機の取扱説明書を参照してください。



※ これは画面例です。  
実際の画面は、発信に使用する電話機により異なります。

### お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- この機能でコマンドを送った場合、受信側の電話機（本電話機）に着信履歴は残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信ランプ、リマインダーも点灯しません。
- 正しいコマンドが送信されると、送信側の電話機には「ピポ」という確認音が聞こえます。
- オフィスモードの場合、使用しているオフィスシステム（PBX）によっては、確認音が鳴らないことがあります。